

2021年度
入試問題傾向

国語 (45分 100点満点)

○問題作成方針

小学校で学んだ基本的なことがしっかりと身につけているかどうかを見るため、知識を問う問題も、読解力を問う問題も、まんべんなく出題しています。

○出題内容と解答上のアドバイス

大問は6題程度出題します。出題傾向は昨年までと大きく変わることはありません。

はじめに知識を問う問題が何題か出題されます。例年、慣用句・ことわざ・四字熟語・漢字（読み書き・熟語の組み立て・部首・類義語・対義語など）・敬語・文学史・文法事項（主語述語・言葉の働きなど）・語句の意味など、様々なジャンルから出ています。どの分野もしっかりと学習しておくようにしましょう。漢字の問題では、とめ、はね等の細部もきちんと書いてください。

長文は、「説明文」と「小説」どちらもよく出題されています。近年は長文が2題、出題されることが多いですが、長めのものが一つだけ出題されることもあります。記述も出題されますが、基本的な読解力を問うものばかりですので、あせらずにいていねいに読みましょう。

問題文だけでなく、問いを落ち着いて読んで、ミスのないように気をつけましょう。問題を全て解き終われない場合も、あわてることなく解けるものを確実に解きましょう。

○受験生へのメッセージ

過去問題をくり返し解くなどして、ある程度本校の入試問題に慣れておくようにしましょう。当日は、とにかく落ち着いていねいに、最後まであきらめずに解くことが大切です。頑張ってください。

算数 (45分 100点満点)

○問題作成方針

小学生として身につけておいてほしい計算力・図形の認識力・応用力を見るため、幅広いジャンルからの出題をしています。

○出題内容と解答上のアドバイス

大問1→計算問題5題 大問2→一行問題6題（大問1・2の小問題群をしっかり解けること）

大問3以降は問題内容によっても多少異なりますが、3～4題を出題しています。

大問3以降も易しい問題・難しい問題を取り混ぜて出題していますが、(1)が易しく、(2)(3)になるに従って、難易度が上がる作りになっていることが多いです。

まずは、解きやすい(1)を必ず正解してください。

また、答えを出すために使った途中の計算は消さないでください。

○受験生へのメッセージ

計算力や考え方をしっかり身につけましょう。自分の苦手なところを克服しましょう。

テストでは、最後まであきらめないように。時間があれば、繰り返し見直しをしましょう。

社会 (理科と合わせて計50分 50点満点)

○問題作成方針

小学校で学習した内容が定着し、整理されているかを確認できるような問題を作成します。基礎的な内容を中心に出题しており、出題方法は昨年度と同様です。難易度の大きな変更はありません。

○出題内容と解答上のアドバイス

大問は全部で4題です。
内容は以下の通りです。

- 【1】 地理
- 【2】 歴史
- 【3】 公民
- 【4】 総合的な問題(3科複合)

大問4つとも、1つのテーマを取り上げ、大問の中で複数の分野の内容を問うものになっています。
【3】 【4】 で主に出题される時事問題は、2020年9月までを出題範囲としています。

○受験生へのメッセージ

理科と合わせて50分間なので、時間配分をおこなう習慣をつけておきましょう。漢字指定がなければ、ひらがなで答えてもかまいません。皆さんのこれまでの努力が十分に発揮されることを願っています。

理科 (社会と合わせて計50分 50点満点)

○問題作成方針

小学校で学習した内容がしっかり身についているかを見ます。教科書の内容を中心に出题します。新聞やテレビで報道されている科学記事・話題にも注目しましょう。問題の形式は変更しますが、問題量、難易度に大きな変更はありません。

○出題内容と解答上のアドバイス

「物質」・「エネルギー」・「生命」・「地球」の4分野の内容を、バランスをとりながら、出题します。
総合問題1題と基本問題に振り分けて出题します。

総合問題とは、環境問題、日常問題に見られる自然現象、実験など理科に関係する1つのことがらやものをテーマに、さまざまな角度から、知識や考え方を問うような形式の問題です。

基本問題は、総合問題でふれなかった分野についての問題を出题します。

○受験生へのメッセージ

試験時間が社会と合わせて50分間なので、理科は25分間を目安に解いてください。
総合問題は、問題文をよく読み、学校の教科書のどの分野について、問われているのかを考えましょう。
記述による説明形式の答え方にも慣れておきましょう。

【Active English入試】

英 語

筆 記 (50分 75点満点)

筆記試験はリスニング・リーディング・ライティングの3技能を測る試験で、英検4級から3級のレベルに準拠して作成します。

英検4級や3級の教材や過去問題で繰り返し学習すれば高得点が狙える問題です。

- ・リスニング (計20点)
短い対話を聞いて質問に答える問題 (4択問題) 5問×2点 = 10点
短いナレーションを聞いて質問に答える問題 (4択問題) 5問×2点 = 10点
- ・リーディング (計35点)
空所補充問題 (4択問題) 5問×1点 = 5点 / 会話問題 (4択問題) 5問×2点 = 10点
長文問題2題 (4択問題) 設問各5問×2点 = 20点
- ・ライティング (計20点) 1問 20点

面 接 (10分 25点満点)

日本語での面接は約3分、英語での面接は約7分です。

面接官はネイティブスピーカーと日本人の2名です。

日本語の面接では、学習しようとする意欲と積極性を確認します。

【質問例】

どんなことに興味がありますか？ / 将来はどんなことをしたいですか？

英語の面接は英検4級から3級のレベルに準拠して作成します。

- ・パッセージの音読
- ・パッセージに関する質問2問
- ・それ以外の質問8問

【質問例】

What do you usually do on Sundays? / Do you like reading books?

【評価基準】

- ・質問に対する的確な応答ができているか。(発音、イントネーションを含む)
- ・積極的にコミュニケーションを取ろうとしているか。
(相手の目を見て大きな声ではっきりと答えているか)

国語基礎

算数基礎

一問一答形式の知識問題で、25題出題

国語基礎・算数基礎と合わせて50分 各50点満点

基本的な国語力が身についているかどうかを見るために、教科書レベルの知識問題を出题します。選択問題が中心ですが、漢字の読み書きと、簡単な文を作る問題も出題します。分量も少ないので解けるものを確実に解きましょう。本校過去問の知識問題などで繰り返し練習したり、小学校の教科書をよく読んでおくとよいでしょう。

基本的な計算のルールや、日常生活でも使うような公式が身についているか問う問題を出题します。答えを導き出すために使った途中の計算を見るために記述式で出題します。本校過去問の ① ② などをくり返し練習しておきましょう。小学校の教科書で学ぶ範囲から出題します。

○受験生へのメッセージ

難しい問題ではないので、落ち着いて解けるものから解きましょう。国語と算数で合わせて50分間なので、時間配分に気をつけましょう。